



特定非営利活動法人日本冒険遊び場づくり協会
2020年度 活動団体応援プログラム 活動報告書
〔きたひろプレーパークの会〕（北海道北広島市）

【団体紹介 HP】 <https://bouken-asobiba.org/play/asobiba-341.html>

1年間の活動の概要

- ・2か月に1回、主に第2日曜日に自然の多い公園で活動しました。焼き芋、ロープ遊び、泥あそび、野鳥探索、大工コーナーなど行いました。・牧場プレーパークを開催しました。どさんこ牧場の一画をご厚意でかり、6月と1月に行いました。サンショウウオの卵探し、馬とふれあい、木登り、弓矢づくり、雪滑り台作り、イグルーづくり、スウェーデントーチなど行いました。
- ・コロナウイルス感染症の自粛期間に伴い、3月と5月のプレーパークを休みました。
- ・6月以降は、コロナ対策として、マスク着用、消毒、食べ物の共有に気を付けて活動しました。

次の1年間でチャレンジしたいこと！

- ・開催日数を増やしたい
- ・そのために、まずは協力者を少しずつ集めること。
- ・大工コーナーを充実させていきたい。
- ・個人の所有地で開催すると市の広報にお知らせを掲載してもらえないため、広報について考える。
- ・SNSで遊びの大切さを発信していく。



▲プレーパークの様子（2021年1月10日開催）

【運営メンバーから一言！】

今年はコロナ禍で不自由を感じることの多い1年でした。しかし、その中で新しい出会いがプレーパークを通じてあったり、新しい価値観に出会えたりしたことはありがたいことです。

活動を継続できるように、これからもマイペースに一歩ずつが目標です。

（代表 浜塚紋子）

【協会から応援メッセージ！】

自然に恵まれた公園のなかで、子どもの育ちと遊び、そして地域とのつながりを大切に活動されていることが素晴らしいですね。寒さの厳しい北海道の冬の季節でも、「雪」という素材を上手く使って遊んでいる様子はワクワクします。子どもたちのペースで遊べる場として根付いていくことを期待しています。

（協会理事・副代表 梶木典子）



▲プレーパークの様子（2020年9月13日開催）

活動団体応援プログラムは、各地の冒険遊び場づくりを全国の仲間たち（協会）が応援するプログラムです。参加をご希望の方は、日本冒険遊び場づくり協会までお問い合わせ下さい。【協会 HP】 <https://bouken-asobiba.org>